



給食だより

令和6年1月

さいたま市立原山中学校



令和6年、新しい年の幕開けです。今年も子どもたちの健やかな成長を願って、安全でおいしい給食を作っていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

学校給食の歴史

学校給食は、戦争のために中断されていましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことからその必要性が叫ばれるようになり、再開することになりました。

まず試験的に、昭和21年12月24日に、三都県（東京、神奈川、千葉）で実施することになり、同日に東京都内の小学校でラウ（アメリカの宗教団体等からなるアジア救援公認団体）からの給食用物資の贈呈式が行われました。その日を学校給食感謝の日と定めていましたが、その後、冬休みと重ならない1ヶ月後の1月24日から30日までの間を「学校給食週間」としました。



明治22年	学校給食のはじまり 山形県の忠愛小学校で、経済的に恵まれない児童に、おにぎりや塩鮭、菜の漬物を昼食として出したことが始まりといわれています。
昭和16年 ～22年	戦争で学校給食の危機 戦争で学校給食を続けることが難しくなり、学童疎開により、ついに中止となりました。
昭和21年	戦後初の学校給食開始
昭和25年	完全給食のはじまり アメリカ合衆国から小麦粉が送られ、パン、ミルク（脱脂粉乳）、おかずの完全給食が実施されました。
昭和29年	学校給食に関する法律の制定 学校給食は、子どもたちの体力向上だけでなく、教育としても考えられるようになり、国の法律として「学校給食法」が制定されました。
昭和40年	ミルク（脱脂粉乳）から牛乳へ 学校給食用飲料として、ミルク（脱脂粉乳）から牛乳への切り替えが始まりました。
昭和51年	米飯中心の献立に 米を使った学校給食が正式に始まりました。
現在	世界に誇れる学校給食 地元でとれた食材を使った特色ある給食や、郷土料理、世界の料理など、献立の種類も増え豊かで恵まれた学校給食が行われています。

<学校給食週間>

原山中学校では、12月5日から12日までを学校給食週間とし、給食委員会を中心に様々な活動を行いました。給食朝礼では、給食週間の取り組みについての話、給食標語の作品紹介、調理員さんへの手紙の朗読を行いました。たくさんの活動をありがとうございました！！



リクエスト給食アンケート集計結果～3学期の給食にたくさん取り入れる予定です。お楽しみに！

主食		主菜		汁物		デザート	
1位	揚げパン	1位	麻婆豆腐	1位	豚汁	1位	スイートポテト
2位	カレー	2位	肉じゃが	2位	白玉団子汁	2位	ゼリー
3位	ごはん	3位	から揚げ	3位	シチュー	3位	フルーツポンチ